

菌床しいたけ事業の 今後について



嶋津 宣美 議員

質問 峰浜培養は低コストでホダ供給することを目的とした第三セクターだが、今後ホダ部門と直営ハウス部門の関係をどう考えているか。栽培農家をどうやってどう確保するのか。将来、事業の拡大の低コスト化を図る事業の導入などの考えは。

答弁 峰浜培養は低コストでホダ製造供給する目的で設立された会社であり、ホダの製造供給を専門に経営できれば一番良いことだと考えている。

質問 平成25年度の両施設の利用実績は、利用者数1600名弱、利用料金は200万円弱となっており、相当数の利用がされている。

答弁 町管理の八森生活改善センターと多目的集会施設は、建設から34年と25年になることから、今後の維持管理費や当初の建

再質問 認定子ども園になるために、今何が必要なのか、どうして行ったらスムーズに認定子ども園に移っていくのか、教育委員会で把握・管理できる体制づくりを考えるべきでは。

答弁 認定子ども園を目指すのであれば保育士のスキルアップなどが大切である。認定子ども園になった場合、教育委員会に移管されるべきなのか、その前に機構改革も含めて教育委員会に幼児保育課が設置されるのか、連携を見据えた幼児教育と小学校教育をつなげるための取組をやっていく。

地区集会施設の 格差是正について

質問 漁火の館と夕映の館の本来の目的に沿った利用は。

答弁 町が経費を全部負担する集会施設があるが、地域間格差の是正のためにも関係自治会への移管を行っている。

再質問 認定子ども園道の歩行者路側帯の幅を拡げて白線を引くことはできないか。

答弁 路側帯の幅を拡げた外側線の設置は、二車線で幅員の広い路線では可能と思われるが、一車線で道幅の狭い路線に路側帯を設置すると、さらに車道部の幅員が狭くなり、車輛走行の側方余裕が確保されなくなる。

町の重要計画への 住民参加について

質問 町の重要計画、町民の提案募集や策定会議等の委員として、住民参加を計画段階から行う考えはないか。

答弁 地域産業の振興に寄与するプログラムを中心に検討するように指示を出している。

再質問 他県の例では、道路に杭を立てて杭の中にある生活者だけが通過できる道路を作っている所もあり、また歩行の目印としてカラー塗装をしている所もある。車道幅を狭くすることによって車がゆっくり走り、歩行者の安全が確保されるのでは。

答弁 根本的には道路が狭いということが一番の原因で、道路の拡幅をしてスペースを確保することが解決になると思うが、検討する。



常勤医師の確保が待たれる町営診療所

町営診療所の 常勤医師の確保 について

質問 町営診療所の常勤医師の確保は。

答弁 地元医師会や県に医師確保に関して継続して協力依頼をしている。医師募集を町内外に発信するため、週刊日本医事新報に募集広告を掲載したり、インターネットを利用した情報発信などを行っているが、現在まで問い合わせはない。

統合子ども園の 運営について



山本 優人 議員

質問 今年11月に開園する統合子ども園を、幼保連携型認定子ども園とし、その所管を教育委員会に変え、運営管理をする考えはないか。

答弁 子ども園の教育・保育については、広域における子育て支援を持ち合わせる、認定子ども園への移行を計画している。当面は、教育委員会と連携しながら町長部局が所管していくが、認定子ども園への移行や組織機構の再編等を行う中で、所管を教育委員会へ代えることを検討する。

再質問 一車線で道幅の狭い道路では、車1台分3mの幅で白線を引けば、歩行者優先の安全な道路になるのでは。

答弁 歩行者も車もお互い譲り合いながら道路を活用していくのが原則で、白線だけの問題では

高齢者が安心 して歩ける 路側帯の確保を

再質問 一車線で道幅の狭い道路では、車1台分3mの幅で白線を引けば、歩行者優先の安全な道路になるのでは。

答弁 歩行者も車もお互い譲り合いながら道路を活用していくのが原則で、白線だけの問題では



狭隘名歩行者路側帯